

平成19年度 学校評価総括表

| 1 学校の概要 | | | |
|---------|-----------------|-------|---------|
| 学 校 名 | 山口県立德佐高等学校 高俣分校 | 校 長 名 | 中 村 充 範 |
| 生 徒 数 | 22名 | 学 科 | 普通科 |

| 2 教育目標 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・人間としての在り方生き方の基本を身につける ・生き生きと目的をもって意欲的・自主的に学校生活に取り組む ・自己の夢の実現に向けて努力する |

| 3 年度当初の課題 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・これまでもマナーの向上については、生徒指導部を中心に取り組んできたが、外部アンケートの結果でも、あいさつに関する項目の評価はあまり高くなく、十分な成果をあげているとはいえなかった。今年度は、生徒が各自で服装・頭髪等の身だしなみに注意を払い、校外できちんとしたあいさつができるように、全校体制で指導する。 ・基礎学力の定着を図るため、毎朝の漢字学習、週一回の計算学習を計画的に実施し、全教員で指導に当たり、学力向上をめざす。 ・従来の交流活動に加え、地域と連携した活動にも積極的に取り組み、体験活動の推進を図る。また、活動を通して学んだことを学校内の人間関係づくりにつなげていく。 |

| 4 課題解決に向けての取組とその成果 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・全教員で毎日、登下校におけるあいさつ指導や生徒への声かけなどに取り組んできた結果、生徒のマナーや身だしなみが良くなり、地域からも良い評価を受けるようになった。また、生徒指導上の問題も大幅に減少した。生徒会が中心となって行った「あいさつ運動の標語募集」も、マナーアップに対する生徒の意識向上を図るうえで効果があった。 ・朝の漢字学習や放課後の計算学習も定着してきており、1年間で合計168回実施することができた。生徒は学習に前向きに取り組んでおり、基礎学力も徐々にではあるが向上してきている。漢字学習については週末に確認テストを実施し、生徒一人ひとりの到達度を確認することもできた。 ・保育園や高齢者施設での交流活動だけではなく、地元の福寿会の方々を講師とするしめ縄製作、小学校との合同どんど焼きなど、地元と連携した様々な取組を行うことができた。生徒も幅広い年齢層の人々と交流することで、相手の立場に立って考え、行動することができるようになった。また、全校生徒で地域の清掃活動（空き缶拾い、除草作業）にも、年2回取り組んだ。 |

| 5 次年度に向けての主な課題 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、教職員とも減少するので、校務のスリム化と学校行事の見直しを検討していく必要がある。学校行事については、地元の行事に協力参加することも視野に入れ、生徒会の意見にも耳を傾けながら、行事の精選を行う。 ・生徒が少人数であることをいかし、生徒一人ひとりに応じた指導を実践していく。特に教育相談の充実をめざし、担任による個人面談だけでなく、組織的で積極的な相談活動の推進に取り組む。 ・授業力向上をめざした教員研修の充実を図る。1教科に対し教諭1名であるため、教科指導方法についての協議を十分行うことができていない。今後は、近隣の高校へ出向くなど、校外における研修を積極的に実施したい。 |